

## 外出支援サービスの拡充ならず

平成24年第3回定例会で一般質問にて提案致しました外出支援サービスの拡充は実現する事は出来ませんでした。

外出支援サービスは要支援や要介護の認定者や自立支援度Bの認定者の方々を対象とした、月に2回医療機関に送迎するサービスです。

しかし、年間の所得が70万円以下の方から700万円以上の方も、一律の負担で行われています。

### 1%の痛みにも向き合える福祉や介護を築きたい

### 応益負担

でいいですか？

※所得の多い方も少ない方も一律の負担

それとも

### 応能負担

がいいですか？

※所得に応じた負担



応益負担のままでは慎ましくもまじめに暮してきた方々の中にも、安心して介護を受ける事が出来なくなる方もみえます。対象者の方々の多くは今後、所得が増える事は考えにくく、最低限の福祉・介護は受けられる環境を整えていかなければなりません。

### 誰が誰を支え合う社会か 今一度考えていきませんか？

一度も山県市に暮らした事もない、一度も山県市でサービスを利用している方々の声を直接聞いた事のない、市外の外部有識者に山県市の福祉施策を託す訳にはまいりません。

市議会議員が議員報酬を月額1,200円削減するだけで外出支援サービスを無料で行う事も出来ます。

### 全国からしがらみのない若手市長・若手市議会議員が注目されています



6月28日放送NHKほっとイブニング『全国最年少の市長始動から1か月』の特集にて藤井浩人美濃加茂市長と共演させて頂きました。



自らの利益の為、自らのメンツの為、政治を行う事を止めなければ何も変わりません。

### 初心を忘れずこれからも街頭演説を行います

毎週月曜日

8:00~ 井戸尻交差点

8:30~ 伊佐美交差点



いつでもお気軽にお声掛け下さい。

正しい事を正しいと言える山県市を築くために志は曲げません。

地方債残高（一般会計+特別会計+企業会計）=山県市の借金

331億3,783万円（平成25年6月30日現在）

山県市に生まれてくる子どもたちは113万1,641円の借金を背負っています。

山県市議会議員

# 恩田 よしゆき

## 活動報告書

-We have potential- 2013 夏・秋号

### 明日を担う新たな力 未来への責任

恩田よしゆき 略歴

1982年6月 山県市（旧高富町）赤尾に生まれる  
桜尾保育園・桜尾小学校・高富中学校 卒業  
岐阜県立岐阜総合学園高等学校 卒業  
愛知みずほ大学 人間科学部 卒業 臨床心理学/都市社会学 専攻  
NPO法人「学生によるまちづくりの会」在学中に設立  
内閣官房構造改革特別区域推進本部評価委員 薬師寺道代（現参議院議員）秘書  
参議院議員 桜内文城（現衆議院議員）秘書

厚生文教委員会 副委員長  
まちづくり特別委員会 副委員長  
議会報編集委員会 委員  
山県市土地開発公社 理事  
山県市国民健康保険運営協議会 会長  
山県市高富民生委員推薦準備会 委員長  
桜尾校区青少年育成市民会議 顧問  
桜尾体育振興会 参与  
全国若手市議会議員の会 所属  
東海若手市議会議員の会 岐阜副支部長  
岐阜☆青年市町村議員ネットワーク 事務局長  
NPO法人生涯里山学習園 副理事長  
山県市消防団第4分団 所属  
（略歴は平成25年7月1日現在）

市民みんなで山県市の未来を創る会  
501-2111 岐阜県山県市赤尾 1089 番地  
TEL/FAX 0581-27-2725  
携 帯 090-2578-9780  
E-mail city.yamagata@yoshiyukionda.jp  
URL http://yoshiyukionda.jp 討議資料



私たちが  
恩田よしゆき市議を  
応援しています。



松阪市長 山中光茂



各務原市長 浅野健司



関市長 尾関健治



美濃加茂市長 藤井浩人

## 第1回定例会

平成25年第1回定例会を2月27日から3月21日までの23日間の会期で行いました。  
3月18日には一般質問を行い下記の2点について質問致しました。

### 1 「山県まちづくり振興券交付事業について」

平成24年度から4事業にて実施されました『山県まちづくり振興券交付事業』は地域経済循環率も高まり、市内の企業を支援する有効的な施策として私も普及に努めてきました。

しかし、その一方で問題点は解決されないまま、今年度より10事業へ拡充し予算も大幅に増額されました。まちづくり振興券により、市内企業がどの程度の売り上げが伸びて、どの程度効果があったのか検証はされておりません。利用者や取扱企業の方々から頂いている改善点など改善がされないまま、事業を拡充する事は適切ではありません。

**1番の問題点は振興券を申請する時期により、使用出来る期間に倍以上の差が生じる事です。最長で19ヶ月の使用期間がある一方で、最短では7ヶ月しか使用期間がありません。**

『実務等を勘案して差が生じる事は仕方がない』との答弁でしたが、実際には改善に向けて具体的に検討や実態調査はまったく行われておりません。具体的な効果や数値目標すら明確にはされておりません。拙速に事業を拡充した要因について問うと『特段の理由はありません』との回答でした。



場当たりの施策ではなく、同じ予算でもより効果が出る施策を十分に検討して、明確な将来ビジョンを持ち市民の皆様の付託に答えていかなければなりません。

### 2 「林業支援のあり方について」

山県市は約84%の面積を豊富な森林として有しており貴重な資源・財産として守ってきました。しかし、檜や杉などの国産材の価格が年々下がり、国内の新築着工数の8割以上が大手ハウスメーカーのため、納期が短縮され林業事業体を取り巻く環境は厳しくなっております。

本市も国、県と共に『育林推進事業』や『森林整備地域活動支援交付金』の活用で山林の保全を図るために林業事業体を支援してきました。しかし、間伐を実施する育林推進事業では事業費の約95%を補助している現状です。森林整備のために支援は必要ですが、補助金の対象事業のみ頼れば、単年度でも補助金が廃止になった時に、事業体の経営も厳しくなってしまう。林業事業体が事業規模を縮小すれば山林整備を継続していく事も難しくなってしまいます。

山林整備の支援を続けると共に林業事業体や製材企業など各事業体には、これまで以上に市場での利益を上げるための支援方法を整える必要があります。



平成24年度の国の補正予算で木材加工施設等整備や先進的林業機械の導入や経営基盤強化に対し半額を補助出来る『森林整備加速化・林業再生基金』の活用も提案致しました。市内に建設した中間土場を活用して山県市産木材を有効活用に向けて整備が進められています。

## 第2回定例会

平成25年第2回定例会を6月10日から6月28日までの19日間の会期で行いました。  
6月26日には一般質問を行い下記の2点について質問致しました。

### 1 「ぎふ清流国体馬術競技場跡地利用について」

多くのボランティアの皆様にお力添えを頂き盛大に開催されました「ぎふ清流国体・清流大会」も幕を閉じ、馬術競技場の跡地利用についても多くの市民の皆様の関心のある所でもございます。

跡地利用について外部のコンサルタントも交え幅広い意見を聞く事となっておりましたが、平成24年3月には市役所内部で今後の計画を検討する事に変更となりました。

平成24年12月議会では跡地利用について『1年間かけて慎重に審議していく』との回答でしたが、具体的な検討はされておらず突然『運動公園構想』に対する予算が組まれていました。

過去3年間一度も新規建設の要望はなく、既存の会場や施設で利用状況は満たされているにも関わらず、どうして新たな建設を進める必要があるのでしょうか。

**又、最終的な建設費がどれだけ必要か、年間の維持管理費がどれだけ必要か、積算もしていない現状です。**

これまで議会や市民の方々にも一度も説明のないまま建設費の予算を組み計画は進められています。



跡地利用に反対しているわけではありません。しかし誰も要望していない、具体的な検討もされない、建設費・維持管理費の積算もしないまま計画を進める事に反対をしています。

### 2 「防災対策に対するハザードマップのあり方と土砂災害防止法について」

山県市土砂災害ハザードマップは非常に解りやすく、詳細に出来ている一方で市内全域には配布が行き届いておりません。又、本市以外には県や国からの防災・災害情報などが発信されておりますが、それぞれ確認しなければいけないために、緊急時には用いる事が出来ない可能性もあります。

ホームページ上での一元管理をはじめ、緊急時の迅速に対応できる環境整備が必要です。土砂災害特別区域内に災害時の避難場所が指定されている地域も見受けられます。

施設の安全確保が出来ているのは勿論の事、避難経路なども含めて安全確保に努めて頂くと共に、改正災害対策基本法やトリアージの導入など震災・災害・防災に対し随時万全な対応が出来る様に準備を整える事を願いました。



山県市土砂災害ハザードマップはホームページ上でも確認出来る様になり、各地域の公共施設にも設置されました。又、避難場所が土砂災害特別警戒区域内にある地域の安全確認も随時行っていきます。